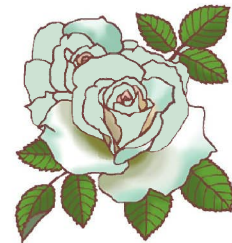


せったん

北摂・丹波支部



第150号 2014年4月5日

発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5階
行 TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

兵庫保険医協会 2014年度 診療報酬改定 特集



協会ホームページ、
改定特集ページを
ご活用ください!



<http://www.hhk.jp/kaitei2014/>

協会はホームページで行事のご案内や研究会の抄録、県下各地の活動やニュースなど多彩な情報を発信しています。

診療報酬改定の特設サイトも設置し、最新情報をいち早くお知らせしています。そこでは改定に関わる施設基準等の届出様式や、テキストの正誤表を掲載しています。

他にも、よくある質問や、行政関係資料へのリンク、各種書式の発行予定など、最新の情報を随時掲載していきます。

ぜひご活用ください。



今次改定ではどう変わるのか、聞き入る参加者

の点数が大幅に引き下げられたこと、「同一建物居住者」の取り扱いについてなど、現場で混乱を招いている問題について詳しく解説し、会場からは多くの質問が出された。歯科では各先生から、歯科口筆が集まった。

「患者の窓口負担軽減」と「TPP交渉からの撤退を求める請願署名」への協力が呼びかけられ、あわせて127名が集まった。

両会場では、



(左から) 歯科の講師を務める中西透幹事、小寺修幹事、福田俊明幹事

医科・歯科あわせて 146人が参加

「新点数研究会」

2014年4月診療報酬改定

支部では3月29日、4月からの診療報酬改定を前に、前回改定に続き支部主催で医科・歯科の新点数研究会を開催し、医科で98人、歯科では48人が参加した。

医科の研究会是、森下順彦支部長が情勢報告、廣瀬智幹事が講師を務め、歯科の研究会は、福田俊明・中西透・小寺修各支部幹事が情勢報告・講師を分担任して務めた。

医科では廣瀬先生が、今次改定で新設された「地域包括診療料・地域包括診療加算」についてや、「在宅患者訪問診療料」と「在宅時医学総合管理料(特定施設入居時等医学総合管理料)」の点数が大幅に引き下げられたこと、「同一建物居住者」の取り扱いについてなど、現場で混乱を招いている問題について詳しく解説し、会場からは多くの質問が出された。

歯科では各先生から、歯科口筆が集まった。

両会場では、



医科の司会を務める森下順彦支部長(左)と講師を務める廣瀬智幹事(右)

ハンドベルコンサート

文
想
感
さまざま
な音色に
子ども達もウキウキ

北摂・丹波支部は昨年の12月21日、三田市キッピモール多目的ホールで、「ベル・コンチェルト」によるハンドベルコンサートを開催した。会員や家族、スタッフ、市民ら34人が参加した。企画立案者の小寺先生の感想文を掲載する。



演奏しているかのよう息がぴったりです。ベルは振るだけではなく、机に置いたまま、ベルの中の分銅を手で叩くと柔らかい音色がします。

届けてくれた心安らぐひと時に感謝！
患者さんにお声掛けして来ていただきましたが、初めて聴かれた方も感激されていました。アンコールにも応えていただいた「きよしこの夜」は、雑念多い私も神聖な気持ちとなりました。会員やその家族のみではなく、市民公開企画も協会を知っていただく機会になって良いと思えました。ただ、もう少し広い会場でもっと多くの方に聴いていただければ、さらに良かったと思います。また、他支部の会員にも聴いていただける機会を作れば、感動の輪が広がると思えました。

山下敦史氏が指揮指導する「ベル・コンチェルト」は三田市在住の女性11人のグループで、定期演奏会では三田市立郷の音ホールの中ホールを毎年満員にする人気グループです。

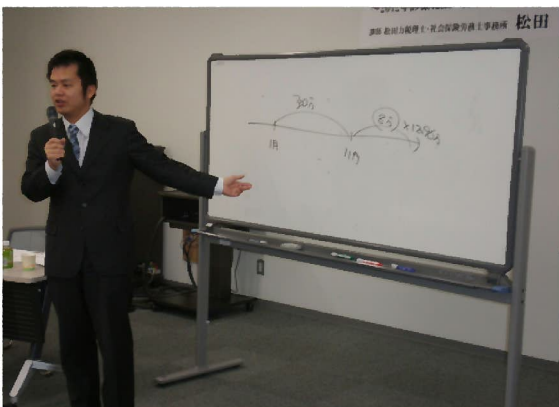
最初の音が出た時に、なんて澄んだ清らかな音色なのだろうと思ひ、それでいてスケールの大きい和音が心に染み渡りました。第一部は、「ファンファーレセレブレーション！」という華やかな曲から始まりました。11人が別々にベルを振っているにもかかわらず、まるで1台のピアノで

曲が進むにつれ、大きな音の又のようなものや、バチのようなもの、羊の鳴き声や鈴やラッパなど色々な音の出る物を駆使した、楽しい演奏が続きます。しまいには風船まで割っちゃって、子どもたちと一緒になつてびっくりしてしまいました。

【三田市・歯科 小寺 修】

会場に入ると、前には一列に並んだ机の上に、小さ

図を用いながらわかりやすく説明する松田力税理士



図を用いながらわかりやすく説明する松田力税理士

会員懇談会
「良い人材は
育てるしかない」

感想文

北摂・丹波支部は1月18日、三田キッピモール講座室にて「スタッフ雇用のポイント」をテーマに、会員懇談会を開催した。松田力税理士・社会保険労務士事務所所長を講師に、17人が参加した。参加者の武中睦美先生の感想文を掲載する。

医院の経営で、いつも頭を悩まされるのが、スタッフの雇用についてです。今回、そのポイントを分かっていくようでよくわからないところを話していただきました。この講演を参考に、自院でのパートから常勤への変更、看護師の募集に活用させていただ

ました。
① 社会保険加入の適応
② 勤務日数と時間がそれぞれフルタイムの4分の3以上であること。(ほぼ30時間)
③ 年収が130万以上になるのが決まった(予定)時より、夫の扶養分及び社会保険から離れること。扶養手当以外にも夫の増税分(年収500万円、8万円、800万円、12万円、1200万円、13万円)がある。
給与額を決めるときに大変参考になりました。
(2) 採用時のポイントは
① 良い人材はいない、育てるしかないの、
② 面接時、院長、職員と合うか合わないか(好きか嫌い)か一番大切であるとのこと。
合わない人を育てるのは難

しい。
③ 募集広告は新聞の折り込み(本院では今までこれしか使っていなかった)以外に、ハローワークの利用が有効であること。
今回、職員募集にこのことが非常に有用でした。
(3) 解雇について
① 能力が低いのは合理的理由にならないこと。
② 試用期間であっても合理的理由がないと解雇できない。このため、数ヶ月の短期雇用契約を使うのが有用であると話された。
今後、協会に、今回のような有用な企画や、カニ旅行などの楽しい企画を催していただきたいと思えました。
【三田市 武中 睦美】